

2008年7月15日

相模原市古淵保育園民営化に係る運営法人選考委員会 様

古淵保育園保護者会
会長 堀井 雅

古淵保育園民営化における法人選考についての保護者アンケート結果について

暑い日が続き、2階のプールから子ども達の大きな歓声がこだましています。

古淵保育園の運営法人選考にあたって、選考委員会の皆様にはそれぞれの方の専門分野におけるお力により、よりよい法人選考にあたってご尽力いただき、ありがとうございます。

これまで相模原市行政と市民が大切にしてきた運営方針と、古淵保育園が培ってきた保育方針を引き継ぎつつ、子ども達にとって第二の家として安心して楽しく過ごせる保育園となりますよう、よりよい法人選考を心よりお願い申し上げます。

当保護者会では、今年3月～4月にかけて、保護者全員に「運営法人選考についてのアンケート」を実施いたしました。アンケート結果につきまして項目別にまとめましたので、選考にあたりまして参考にしていただきたくお願い申し上げます。殆どが現在の古淵保育園に当てはまるものですが、各項目末尾で（さらに）と書いてある部分については、新たな運営法人に期待する声です。

また選考する過程で、より多くの保護者の意見が必要になった場合は、当保護者会までご連絡ください。迅速に保護者へのアンケート等実施いたします。また、選考委員の皆様が、現在の古淵保育園の質を担保できないと判断された場合は、民営化の延期を含めてご検討ください。

どうぞよろしくお願い申し上げます。

記

1.運営方法

- ・子ども達や保護者、そこで働く職員にとって、暖かい雰囲気のある園である。
- ・法人として大切にしている運営方法や保育方針についての説明がある。
- ・保護者にとって子どもを安心して預けられる保育園である。
- ・保育園に関わるあらゆる職員が働きやすい職場である運営である。
- ・保護者会や保護者による活動への運営等に協力的である。
- ・卒園児や地域の子ども達にとっても、オープンな保育園である。
- ・病後保育や特別保育に熱心である。
- ・公立既存園や近隣保育園と協力関係が築ける。
- ・保育園の運営者や施設長が、実際に子どもと接する時間が多い。

（さらに）

- ・引継ぎ保育に熱心に取り組み、現在の古淵保育園を引き継ごうという意思が感じられること。
- ・定員以上の子どもを受け入れをしない。

2.保育方法

- ・年齢の差なく、ともに遊べる自由な保育園である。
- ・幼児のオープン保育。
- ・お散歩など園外活動に積極的である。
- ・子ども達がのびのびと自立心を持って成長できるような時間が過ごせる場が多くある。
- ・体を動かすことやお絵かきなど、情操教育に活発である。
- ・集団生活で大切なルールをきちんと子ども達に伝えられる。
- ・いいことをしたら褒め、悪いことをしたらきちんとしかれる。
- ・子ども達一人一人の違いを認め、その子の良いところを伸ばしてくれる。
- ・子ども達の表情が元気で、生き生きしている。
- ・子どもの気持ちに寄り添い、心や行動をよく観察し、暖かい目線で見守る姿勢がある。
- ・子ども達が元気で、ゆったり過ごせる。

(さらに)

- ・土曜日の延長保育や休日保育が検討されること。

3.コミュニケーション

- ・園と保護者をつなぐノートや、今日の出来ことや家庭での様子が伝え合える。
- ・職員、保育士、子ども達との話し合いの場や懇談の場が設けられている。
- ・保護者にも園児にも叱ったり、アドバイスをしてもらえる。
- ・園長、保育士や看護師、栄養士など、保育園に関わる職員の写真や名前などが、分かりやすく掲示してある。
- ・保育士、職員間のコミュニケーションがしっかりとれて、先生の個性の違いを活かしつつ、「子ども一人一人を大切にすする」保育方針が共通している。
- ・子ども同士の争いによるケガなどは、両者の保護者への報告がある。

(さらに)

- ・運営法人の経営方針や年間計画、運営者の詳細などが保護者にも公表されること。

4.保育士・職員

- ・継続的に働きやすい職場である。
- ・職員の経験年数が豊富である。幅広い年齢層の保育士がいる。
- ・子どもの担任の先生が年間を通して、同じ先生である。
- ・職員全員で子ども達全員をともに守っていこうとする保育士集団が形成されている。
- ・保育士としての研修時間が確保されている。
- ・栄養士、看護師がいること。

(さらに)

- ・常勤職員、非常勤職員の待遇格差が大きくならないよう、時間数に応じた賃金と福利厚生をつけること。
- ・現在、古淵保育園に勤める常勤、非常勤、臨時、短時間勤務の職員を、本人の希望があれば、積極的に採用してほしい。

5.食事

- ・幼児クラスへの希望者への主食の提供がある。

- ・園内で調理がされている。
- ・保護者への試食会がある。
- ・おやつや食事の見本（実物）の提示がある。
- ・子ども達の栄養を第一に考え、美味しく楽しく食べられる食事である。
- ・おやつもなるべく手作り、無添加のものが提供される。
- ・アレルギー対応食を徹底している。
- ・調理員、栄養士が子どもとコミュニケーションがとれる時間がある。

（さらに）

- ・無農薬有機の野菜や主食、地場の食材等を活用して欲しい。

6.行事

- ・懇談会や年間行事の開催。
- ・季節の行事やお誕生会を大切にしている。

（さらに）

- ・お別れ会や保護者会主催の催しなどにも、保育士が積極的に参加する姿勢があること。
- ・遠足はバスなども利用しながら、楽しい時間を過ごせること。
- ・お泊り保育や卒園児も参加できる催しなどをして欲しい。

7.病気の対応

- ・呼び出しについては、熱だけで判断するのではなく、子どもの様子や体調を総合的に見ている。
- ・伝染病でない病気には、神経質にならない。
- ・予防注射などを強要しない。
- ・皮膚炎や慢性疾患への投薬や塗薬を園でも行っている。

■参考：民営化への不安や思いなど

- ・先生の総入れ替えや、実際に変わるまで何が変更されるのか分からないのが不安。
- ・民営化後に問題が起こった場合は、市はサポートしてくれるのでしょうか？
- ・最初の説明から、随分スケジュールがずれてきている。
- ・予定が2年遅れになったので、民営化も最低2年先送りして欲しい。
- ・入園する際に、民営化される話を聞いたが、それでいいですか？と言われても、保育園に入れただけでラッキーなので、選択肢はない。入る前から民営化がきまっていることが悲しい。どうして保護者会では反対がなかったのでしょうか。
- ・先生が全て変わることで、子どもが不安がらないか心配。
- ・卒園した子どもにとっては母校がなくなるようなもの。財政難を理由に多くの子どもの思い出を簡単に奪われてしまうようで、悲しい。
- ・どんな法人が運営するのか、今だに分からないのでしょうか？
- ・定員を増やすことで営利目的の保育園にだけはしてほしくない。
- ・施設は変わらないのに、人だけが変わる。子ども達のことを考えると心が痛む。
- ・どうして民営化する必要があるのか、いまだに分からない。